

月刊 やちまなこ

2019.12.15 発行

No.265

12月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

釧路湿原にも雪が降り、数多くの水鳥たちで賑わっていた湖はまるで蓋をしたように結氷してしまった。朝の時間帯は湖面を走るように独特な音が聞こえ、それは師走限定の音でもあり、長い冬の始まりを告げる音。冬と言っても今年は寒暖の差が大きいようで、湖面の氷も所々に水面が顔を覗かせている。そんな場所にはオオワシが姿を見せ、氷上を吹く冷たい季節風やカラスの威嚇にじっと耐えている。朝霧が晴れ、まばゆい陽射しの中で大きく翼を広げたタンチョウは、やがて湿原の奥へと飛んで行った。



塘路フィールドノート【11/15～12/14】

【野鳥】

湖面の結氷とともに水鳥たちが姿を消し、静まり返る現在の塘路湖畔。しかしここ最近、水鳥たちに代わって勇壮なオオワシ・オジロワシの姿を見かけることが多くなってきました。野鳥たちの動きに季節の推移を感じます。



オオワシ (塘路湖畔)

湖岸沿いの木によく止まっています。時にはセンターの窓からその雄姿が見られることも



オジロワシ (シラルトロ湖畔)

上空を何度も旋回していた成鳥。凍結した湖面の上にいるところもよく見かけます



オオバン (塘路湖)

30羽ほどの群れ。塘路湖では毎年確認される種ですが、これほどの大きな群れは稀です



ホオジロガモ (塘路湖)

湖面の結氷まではよく見られました。真冬は釧路川等の不凍水域でたまに見かけます



ミコアイサ (塘路湖)

左がエクリプスの♂で右が♀。♂はパンダガモの羽色に生え換わるまであともう少し



ユリカモメ (塘路湖)

今年も湖面へのダイブをよく見かけました。この時はセンター前の水域でしばし休憩中



オオハクチョウ (塘路湖)
結氷した湖上で羽を休めていた3羽。おそらく湿原周辺で越冬する個体と思われます



ダイサギ (塘路湖)
湖上を颯爽と飛んでいくところ。11月下旬、湖面が結氷する直前に何度か見かけました



ベニヒワ (シラルトロ湖畔)
ハンノキの実を食べに来た♂。20羽ほどの群れで木から木へと移動していました

【植物】

一面冬枯れの景色が広がる初冬の塘路湖畔。色鮮やかな季節が懐かしく感じられる今日この頃ですが、湖畔を歩いていると、植物の赤い実や種を飛ばし終わった果実の跡など、秋の名残をそこかしこに見つけることが出来ます。



カラフトイバラ (コッタロ湿原)
真っ赤な実がまだたくさん残っていました。冬枯れの景色の中で非常に目立つ色彩です



カンボク (コッタロ湿原)
カラフトイバラとともに良く目立つ赤い色。こちらは残っている実はあとわずかでした



エゾノコリンゴ (コッタロ湿原)
ドライフルーツ状の実。結実の頃の色鮮やかさは失われ、すっかりくすんだ地味な色に…



ハシドイ (塘路湖畔)
種を飛ばした後の果実。今年は花の当たり年だったため、たくさんの実が付きました



イヌエンジュ (塘路湖畔)
茶色く変色した豆果がたくさんついていました。地味な色彩ですが、意外に目立ちます



エゾマツ (シラルトロ湖畔)
周辺では珍しい常緑のマツ。他の樹々が葉を落とす冬に、その存在感は際立ちます

🎄 オリジナルのクリスマスリースを作りました 🎄




クリスマスまでひと月に迫った11/23(土)、毎年恒例のクリスマスリース作りのイベントを開催しました。

ヤマブドウやツルウメモドキなどで作った土台に、松ぼっくりなどの自然素材や市販のオーナメント素材を飾り付けていくこのイベント、今回は12名の方が参加し、それぞれオリジナルのリースづくりに取り組みました。

この日の講師藪本隆子さん(釧路湿原国立公園ボランティアアレンジャー)から素材の使い方などについてアドバイスをを受けたり、他の参加者の作品を参考にしたりしながら、時間を忘れるほど夢中で作業に取り組んだ結果、今年も個性あふれる作品がたくさん出来上がりました。

【お知らせ】サルルン展望台がリニューアル

改修工事のため、立ち入り禁止となっていたサルルン展望台ですが、工事の終了に伴い、利用できるようになりました。

サルルン展望台からは、塘路湖をはじめとする湖沼群を望めるほか、運が良ければ湖沼のほとりにタンチョウの姿も見ることが出来ます。ぜひご利用ください。

※冬期は散策道の除雪は行われません。



【お知らせ】温根内木道の工事について

老朽化に伴う改修工事のため、下記の期間温根内木道の一部が通行止めになります。詳細は下記のリンクよりご確認ください。

<http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>
(釧路湿原国立公園連絡協議会ホームページ)

【お知らせ】年末年始の休館日について

塘路湖エコミュージアムセンターは年末年始の下記の期間、休館となります。

○年末年始休館日

令和元年12月29日(日)～令和2年1月3日(金)

1月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

バードカービング講座 第五回目

[日 時] 1月5日(日) 11時～15時

[定 員・参加料] 第一回の参加者の方

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

連凧を作って揚げよう

[日 時] 1月18日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 100円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

湿原アニマルトラッキング

[日 時] 1月19日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 11/15(6:13,16:00). 11/30(6:31,15:50). 12/14(6:44,15:48)

～編集後記～

■師走を迎えた塘路湖は氷が張ったものの、日中の気温がプラスになったり、雨が降ったりと、寒暖の差が大きく、午後4時には日没を迎えます。今年の冬至は22日ですね。平成から令和となりましたが、早くも終盤となりました。新たな年を迎えようとする釧路湿原、どんなドラマが展開するのでしょうか？皆様良いお年をお迎えください。

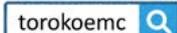
釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料